

## 平成28年度 第6回霞ヶ浦自然観察会結果報告

### 「投網体験と霞ヶ浦の豊かな魚たち」を実施しました。

開催日時：平成28年9月3日（土）午前9時30分から午後3時30分まで

開催場所：行方市天王崎 ※風向きが悪く稲敷市浮島和田公園から当日変更しました。

参加者：31名

今回の霞ヶ浦自然観察会は、毎年この時期に実施している投網体験による魚の観察会を行いました。8月に霞ヶ浦環境科学センターで行われたイベント等で広報したこともあり、初めて霞ヶ浦自然観察会に参加される方も多く集まりました。

当日は台風後の増水が心配されましたが、水位はほぼ平常時近くまで下がり、天候も雨の心配のない秋晴れが広がりました。ところが観察地の稲敷市浮島和田公園に到着すると、向かい風で波も立っており、投網ができる状況ではありませんでした。そこで急きょ、風上になる対岸の天王崎に移動することにしました。実は2年前も同じことがありました。

約30分の移動の後、行方市天王崎に到着しました。こちらは波もおだやかで、風の影響もありませんでした。まずは昼食休憩として、12時30分から観察を始めることにしました。

昼食が終わると、待ちきれない子どもの参加者が砂浜に集まり、少し早く投網や“たも網”を使った魚取りがはじまりました。常連の参加者は、上手に投網を打っています。初めて投網を体験する参加者も悪戦苦闘しながらも、楽しそうに参加していました。当日は足元で、ハゼ科のヌマチチブやテナガエビが群れており、ほとんどの参加者が自ら生き物を捕まえることができ満足そうでした。また、砂浜にワカサギが回遊してくると投網にたくさんのワカサギが入り、参加者全員から歓声があがりました。

霞ヶ浦はわたしたちに水はもちろん、ワカサギなどの食の恵みももたらしてくれます。また、投網や釣りで生き物と触れ合ったり、美しい景色を見せてくれたり、我々の心に安らぎも与えてくれます。この豊かな霞ヶ浦の自然がいつまでも続くことを願って観察会を終了しました。急な観察地の変更はありましたが、無事に観察会を実施することができました。参加者のみなさん、運営補助をしていただいたパートナーのみなさん、ありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

今回観察した魚類、甲殻類は以下の通りです。

ワカサギ、ヌマチチブ、ヨシノボリ、ウキゴリ、コイ、ギンブナ、タイリクバラタナゴ、チャンネルキャットフィッシュ、テナガエビ、スジエビ

観察会の様子を御紹介します。



和田公園は波があり、急きょ天王崎に移動することになりました。





天王崎はおだやかな波で安心しました。



昼食後，砂浜に集合しました。



投網のレッスン。



投網にたも網，魚採りに夢中です。



ワカサギがたくさん捕れました。



最後に，みなさんで集めた魚を観察しました。